

古文書読解講座で講師の話を聞く受講者＝岐阜市夕陽ヶ丘、県歴史資料館



## 「梅村騒動」ひもとく

県歴史資料館 古文書読解講座始まる

県歴史資料館（岐阜市夕陽ヶ丘）の古文書読解講座「高山陣屋文書を読もう」が9日、始まった。初日は明治初期の事件「梅村騒動」について説明があり、早速読解に取り掛かった。

所蔵する貴重な史料を活用してもらおうと月1回、計10回の連続講座として企画。歴史好きな50～70代の男女を中心にすでに20人の定員が埋まった。高山陣屋文書は、全

国で4カ所のみ設けられた郡代の地方支配の様子を伝える一級の史料。講座では、初代高山県知事と人民との間に起きた騒動にスポットを当て、「判事局日記」と「御役所日記」の1869年1～3月の記録を読み進める。

講師を務める同館学芸業務専門職の小川敏雄さんは、「史料を読み解きながら歴史をみていくため、真の歴史究明の醍醐味（だいごみ）を味わうことができ」と話し、文字の読み方や背景についても説明していた。

（箕浦由美子）

古文書読解講座で講師の話を聞く受講者＝岐阜市夕陽ヶ丘、県歴史資料館



## 「梅村騒動」ひもとく

県歴史資料館

### 古文書読解講座始まる

県歴史資料館（岐阜市夕陽ヶ丘）の古文書読解講座「高山陣屋文書を読もう」が9日、始まった。初日は明治初期の事件「梅村騒動」について説明があり、早速読解に取り掛かった。

所蔵する貴重な史料を活用してもらおうと月1回、計10回の連続講座として企画。歴史好きな50～70代の男女を中心にすでに20人の定員が埋まった。高山陣屋文書は、全

国で4カ所のみ設けられた郡代の地方支配の様子を伝える一級の史料。講座では、初代高山県知事と人民との間に起きた騒動にスポットを当て、「判事局日記」と「御役所日記」の1869年1～3月の記録を読み進める。

講師を務める同館学芸業務専門職の小川敏雄さんは、「史料を読み解きながら歴史をみていくため、真の歴史究明の醍醐味（だいごみ）を味わうことができ」と話し、文字の読み方や背景についても説明していた。

（箕浦由美子）